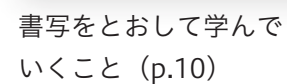


新指導要領で
求められる書写力を図示

相手意識、目的意識、
方法意識を明示

親しみやすく、やわらかいイラストで意識づけます。



目標をはっきりさせることで、
つけたい力が明確になります。

3年間の
学びを俯瞰

学年カラーを活用した、
ビジュアルかつシンプルな
デザインで「何を学ぶか」
を確認できます。

発達段階を
ふまえた教材配列

1年 主な毛筆教材 「天地」「いろは歌」 （楷書） 「大木」「栄光」 「平和」（行書）	2年 主な毛筆教材 「初志」「深緑」 「喜びの声」（行書）	3年 主な毛筆教材
--	---	------------------

目次 (p.2・3)

小学校からの
円滑な接続
『ふしぎ』金子みすゞ
小学校で学習した
慣れ親しんだ作家の詩を、
導入で扱います。



「まなびリンク」には
全教材分の毛筆動画を収録

教科書に掲載されているすべての毛筆動画について、書いている様子を真上から撮影した動画が視聴できます。



補充教材集

13教材
「出発」「名作」など

学年共通「書式の教室」

- ・ 手紙
- ・ 年賀状
- ・ 原稿用紙
- ・ 小包伝票
- ・ 包み紙
- ・ 願書
- ・ 志願理由書など

書き初め

各学年2教材

「コラム」

- ・季節の行事と書写（1年）
- ・あの人が残した文字
- ・短冊と色紙
- ・書の古典の鑑賞（2年）など

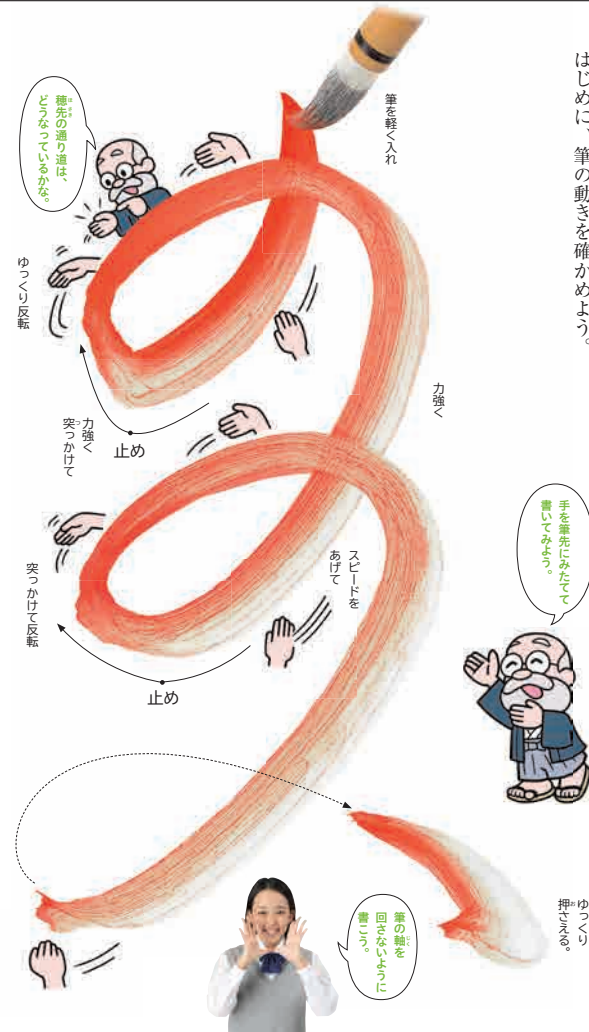
知識・技能を確実に習得する

— 小学校からの円滑な接続 —

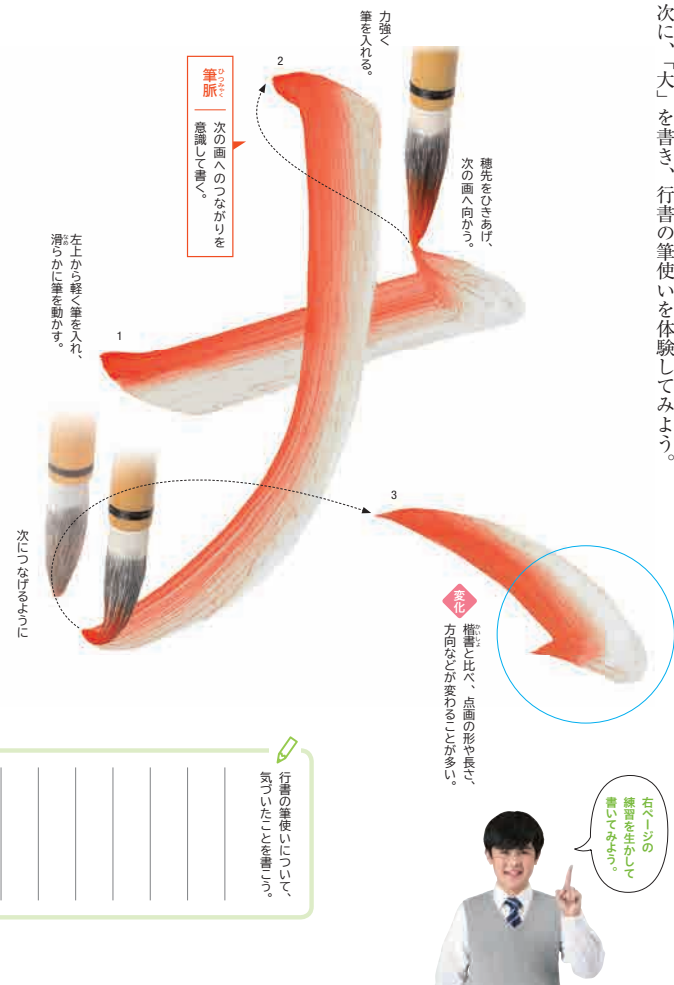
「適切に運筆する能力」＝行書の基礎的な書き方」を段階的に、丁寧に

三 行書で書いてみよう 3 行書の筆使い「大」

はじめに、筆の動きを確かめよう。



次に、「大」を書き、行書の筆使いを体験してみよう。



行書の筆使い「大」(1年p.44・45)

学習指導要領での扱い

小学校段階において、新指導要領で求められている「適切に運筆する能力」について、
中学校では明快な筆使いの図版と、行書の丁寧な導入で接続を図り、さらに高めていきます。

小学校 第1・2学年

点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くこと。
※指導要領解説書には「水書用筆等」が例示される。

第3・4学年

毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くこと。

第5・6学年

毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。

中学校 第1学年

漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。

行書の基礎的な書き方

＝行書ならではの筆使いの習得

作業療法※の観点から

よい姿勢をとるための要所となる「体幹」に着目し、
背筋を伸ばすから腰を起すことを習慣化できるようにしました。

※作業療法は、障害と折り合いをつけながら、生き活きた生活を送れるよう、仕事、遊びなど日常生活のなかでの活動(作業)をとおして、こころとからだを元気にするリハビリテーション。(一般社団法人日本作業療法士協会ウェブサイト)

生徒自らがよい姿勢を確認できる観点を提示。



姿勢と用具の使い方 (p.6)



作業療法士
笹田哲先生のコメント

中学生は、発達段階として、身長、体重などの変化が大きくなる時期です。よくない姿勢で書くと、運筆の調整力・視力・呼吸の低下、体の歪みにつながり、心身に悪影響をもたらします。よい姿勢、疲れない持ち方にも目を向けて、書く力を伸ばしていくことが大切です。

プロフィール

神奈川県立保健福祉大学リハビリテーション学科教授、同学科長 日本発達系作業療法学会理事

「学び方がわかる」

―主体的・対話的で深い学びへ向かう羅針盤として

- 毎時間の学習の進め方が確実に理解でき、基礎・基本の定着を図ることが出来ます。
- 主教材となる1文字の学習から他字への応用、日常化までの流れをつかむことができ、「深い学び」につながります。

学習手順の明確化Ⅱ主体的な学び

「学習の進め方」について、批評場面や学習用語の例示などの具体的な手だてを入れることで、より活用度が高まりました。

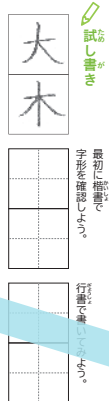
学習の進め方

① 目標
学習の目標を確かめよう。

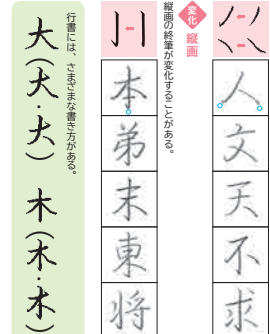
学習のはじめに、硬筆や毛筆で書こう。



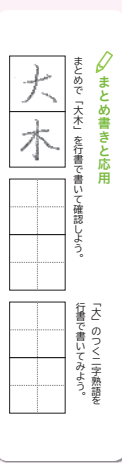
② 考えよう
試し書きと教科書の文字とを比べ、自分の課題を見つけよう。



③ 生かそう
毛筆で学習したことを、硬筆で他の文字に生かして書こう。



④ 振り返ろう
課題が解決できたかどうかを自己評価し、学習を振り返ろう。



⑤ 学習や日常生活に生かそう

学習カードに書き込んだり、書いた文字を拡大したりして発表し合おう。



批評することで課題発見する。

練習用紙を選択し、課題解決に取り組む。

⑥ 話し合い活動で用いる学習用語を例示。

話し合い活動で用いる学習用語を例示。

話し合い活動で用いる学習用語を例示。

⑦ 学習や日常生活に生かそう

学習カードに書き込んだり、書いた文字を拡大したりして発表し合おう。



話し合い活動で用いる学習用語を例示。

話し合い活動で用いる学習用語を例示。



学習の進め方 (1年p.8・9)

学習カードを例示することで、主体的な学びを支援。

書写用語で伝え合うⅡ対話的な学び

話し合い活動のポイントや学習用語を提示することで、話し合い活動を活性化させます。

「学習の進め方」と、毛筆基本紙面の連動が明快で、毎時間の学習の進め方が身につきます。

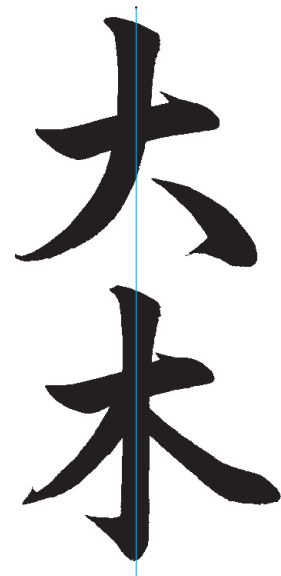
① 目標

② 考えよう

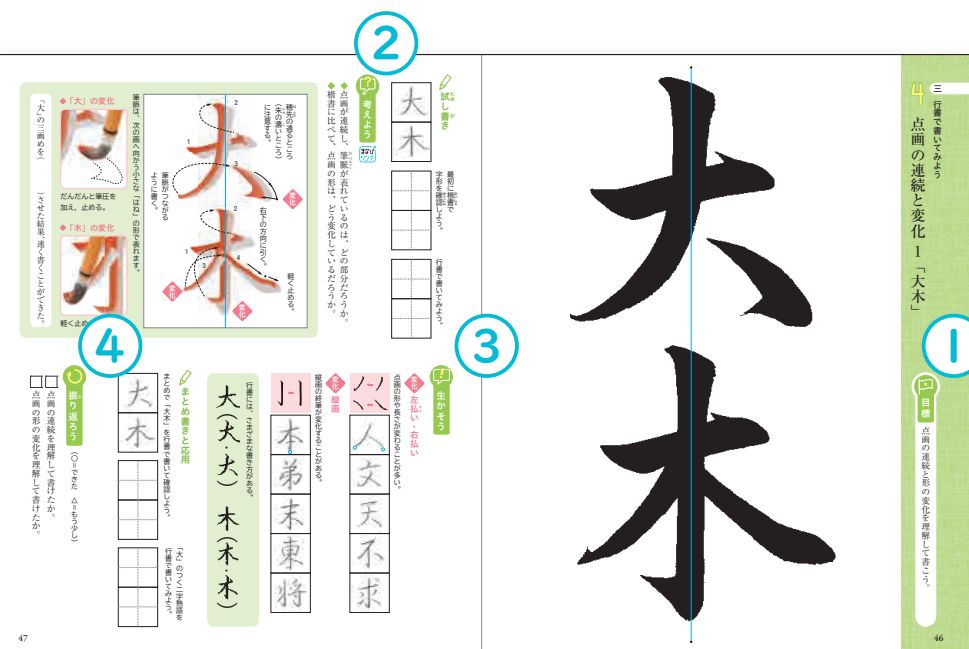
③ 生かそう

④ 振り返ろう

⑤ 学習や日常生活に生かそう



点画の連続と変化1「大木」(1年p.46・47)



⑤ 学習や日常生活に生かそう

⑦ 学習や日常生活に生かそう



学習を生かして書く一行書の特徴一(1年p.52)

他字への応用・転移Ⅱ深い学び

「硬毛関連」

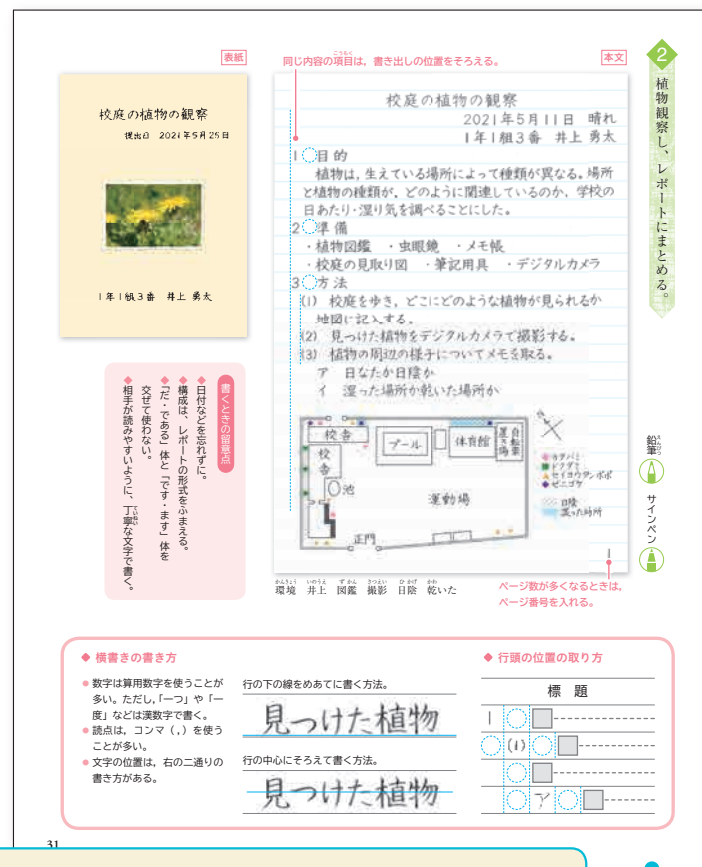
毛筆で学習した行書の書き方を、硬筆の他字に転移できる教材が豊富に例示されており、日常化を図ることができます。

学習活動や日常生活で、生きてはたらく書写力を身につける

わかりやすくまとめる力が学力向上につながる

各教科の書く活動と連動しています。国語をはじめとして、社会、理科、数学など、各教科バランスよく教材化することで、**カリキュラム・マネジメント**にも対応しています。

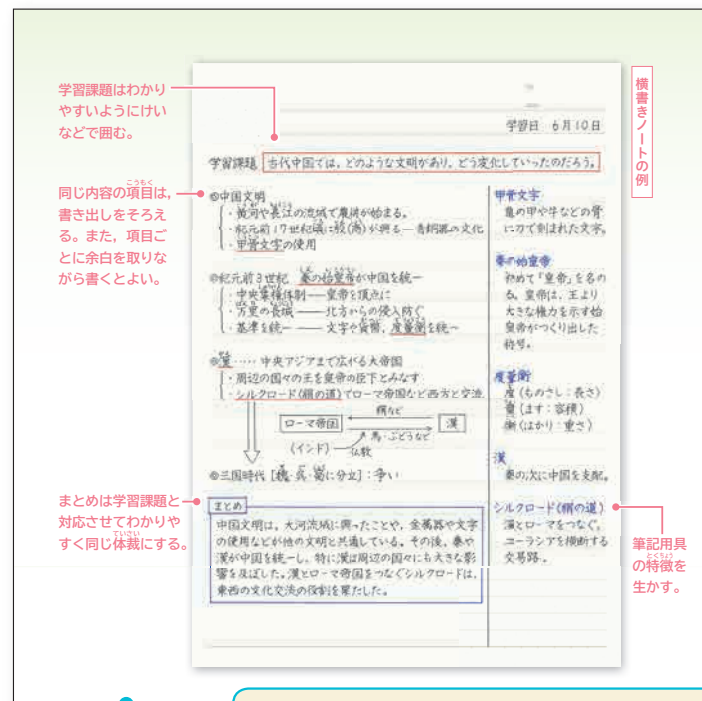
学習を生かして書く一配列ー（1年p.31）



●理科のレポート

書写では、より伝わりやすい書き方のコツを解説することで連携を図る。

学習内容を効果的にノートに書こう（1年p.13）



●社会科のノート

内容を整理してまとめることで、理解しやすく、覚えやすいノートになる。

実社会で活用できる「書式の教室」

学習活動や日常生活での活用はもとより、義務教育の最終段階として、実社会で活用できる基本的な手紙の書き方、包み紙、小包伝票の書き方など豊富に掲載しており、**生涯にわたって活用**できます。

書式の教室（p.100）

書式の教室

手紙の書き方 改まった案内や報告したい内容を知らせる。

段落のはじめを一字下げの書き方と、行頭をそろえる書き方がある。

挨拶 時候の挨拶 時候の挨拶は、季節の移り変わりを表す言葉で、挨拶の文の最初に書く。時候の挨拶は、季節の移り変わりを表す言葉で、挨拶の文の最初に書く。

本文 本文は、挨拶の後に書く。本文は、挨拶の後に書く。

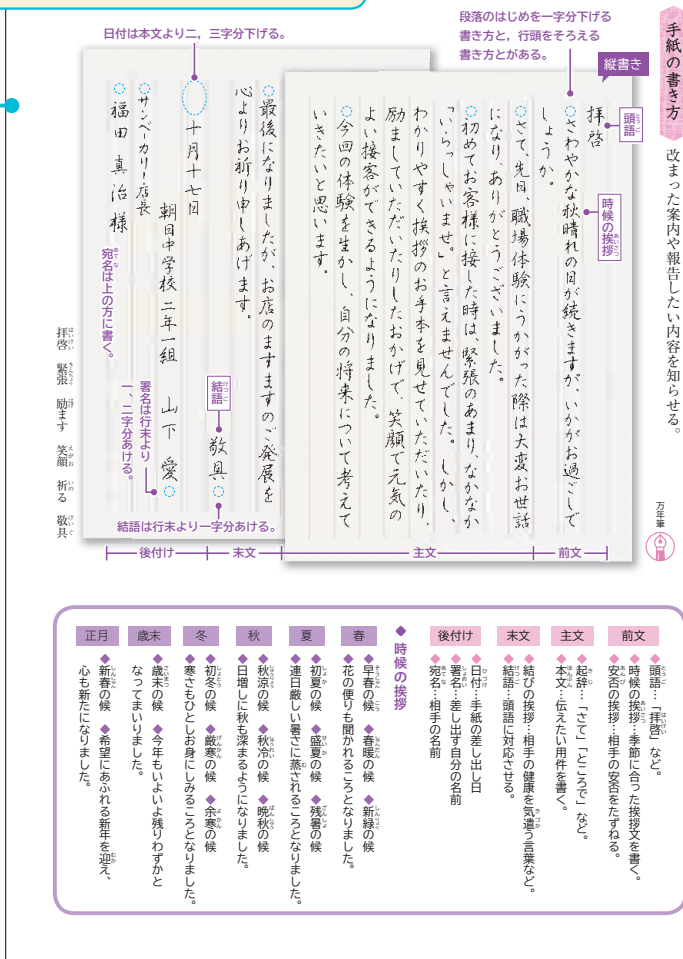
結び 結びは、本文の最後に書く。結びは、本文の最後に書く。

日付は本文より二、三字分下げる。

署名 署名は、本文の最後に書く。署名は、本文の最後に書く。

●手紙

相手への配慮が書式に表れている例。



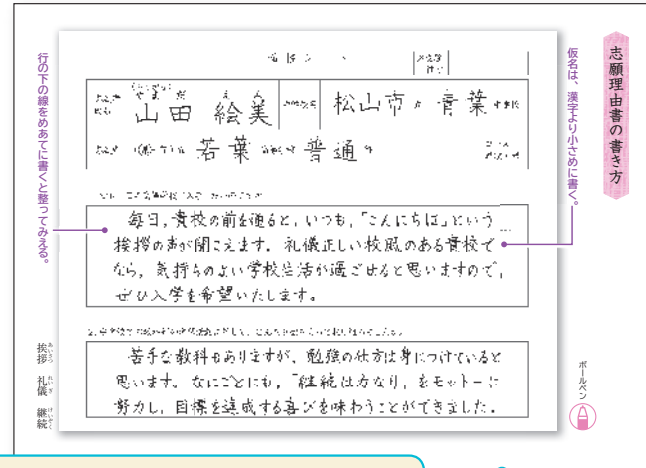
関連箇所

p. 4・5 p. 32・33 p. 98～107

【内容例】

一筆箋、年賀状、往復はがき、小包伝票の書き方、入学願書 など

書式の教室（p.107）



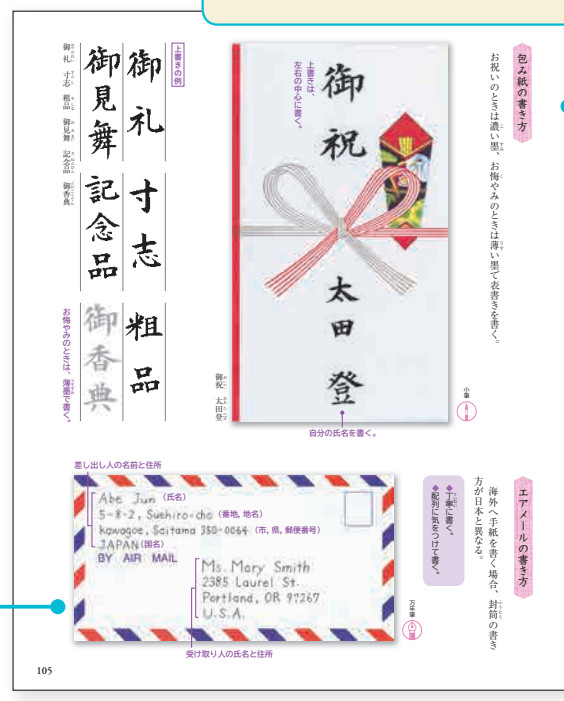
●志願理由書

正しく丁寧に整えて書くことで志望校への姿勢が伝わる書き方の例。

●包み紙

社会に出てから求められる書式の例。

書式の教室（p.105）



●エアメール

国際交流の観点から、基本的な書き方を掲載。

関連箇所

p. 4・5
p. 12・13
p. 30～37
p. 78・79
p. 82～85
p. 94・95
p. 98～107
p. 110～112

【内容例】

目的に合わせた書き方、メモ（関連づけ、分類）、さまざまな書く場面、新聞、メッセージカード、案内文 など

言語活動、文学作品などを
豊富に掲載

国語の指導要領における学習活動との連携に配慮した教材構成です。**国語と書写を連携させた指導計画**をスムーズに立てたり、**普段の授業で自然に連携**を図ったりすることができます。

内容がわかりやすく、振り返りやすいノートのまとめ方について、『竹取物語』の教材をもとに例示しています。

夏目漱石の書、宮沢賢治の手帳、『平家物語』、『おくのほそ道』、原稿用紙の書き方 など

書写のねらいである配列を
意識して書くことができる。

話し合いの観点によって、
よりよく書く方法を考え、
対話的な学びを促す。

学習を生かして書く一行の
中心一(1年p.28・29)

課題設定，解決方法を計画，情報を比較，事柄を推論する活動において，表や図解で表す整理法を示す。

情報を整理して、活動につなげよう (p.111)

[illegible]

読書活動と関連させて、
お薦めの本を紹介する
本の帯やポップ、ポス
ターの書き方を示す。

友達に「お薦め」の一冊を紹介するために、効果的に本の帯やポップを書く。

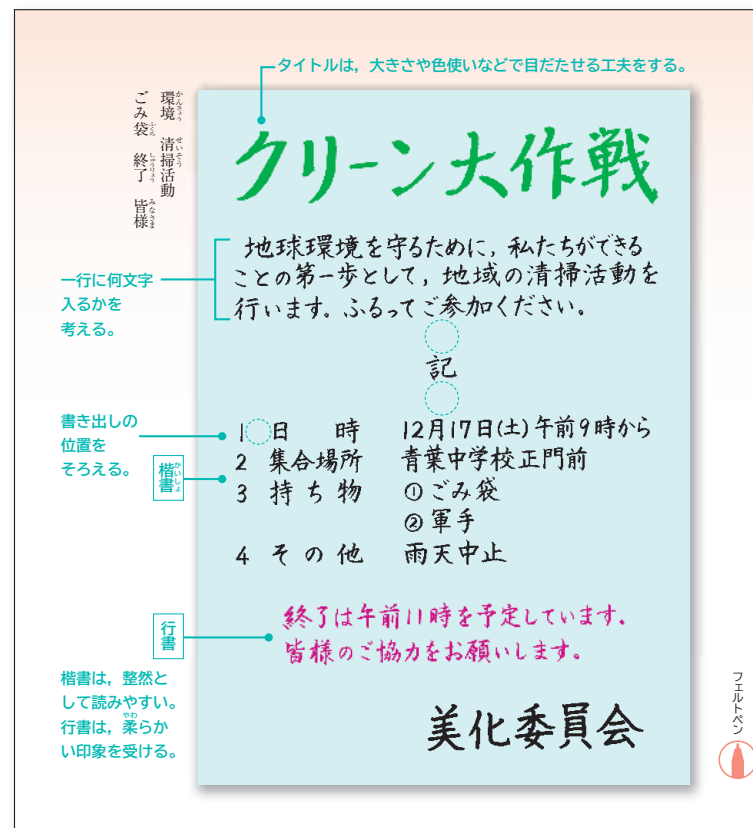
ポツブ

ポップ

学校生活に生かして書く (1年p.36)



学習活動や日常生活に生かして書こう（2年p.84）



- 環境保全として、「クリーン大作戦」のポスター例や、森林保護を題材とした図解の例を掲載し、次世代に生きる生徒の育成を支援します。



(3年p.97)

- 身のまわりで見られる書や、先人の書の味わい深さを実感できるコラム、地域のシンボルである城址写真のコラムなど、多角的な視点での文字資料を多数掲載しています。



(2年p.57)

すべての生徒にとっての
学びやすさに配慮

(2年p.52)

ユニバーサル
デザインフォント読みやすさに配慮した
UDフォントを使用しています。

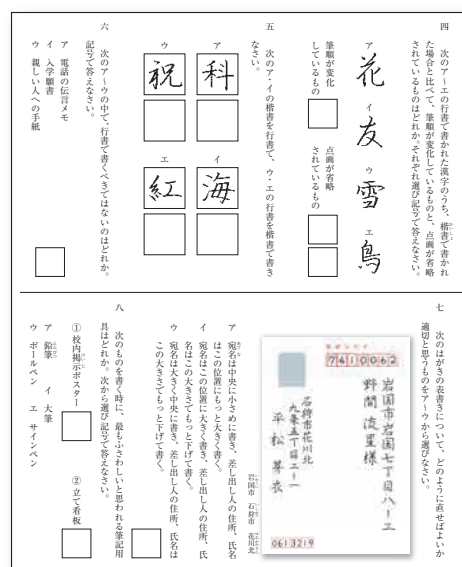
- 色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、すべての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

カラーユニバーサル
デザイン判読しやすい配色です。
専門機関の認証を得ています。

(p.9)

筆圧など	字間	字形	文字、行間	始筆	折れ	はね	横画	縦画	右払い	左払い	点
				送筆	送り	終筆					

書写テストで確認



書写テストで確認（p.109）

- 書写の知識・理解の定着を図るための問題を掲載しました。

漢字一覧表が

さらに
使いやすく

漢字一覧表（p.113～125）

- 小学校で学習した1,026字、中学校で学習する1,110字の「行書」に加えて、「楷書」を新たに掲載。
- 「漢字の部分による分類」に加えて、**50音順の索引**（p.126～128）を新たに掲載し、検索機能がさらに高まりました。